

第5章

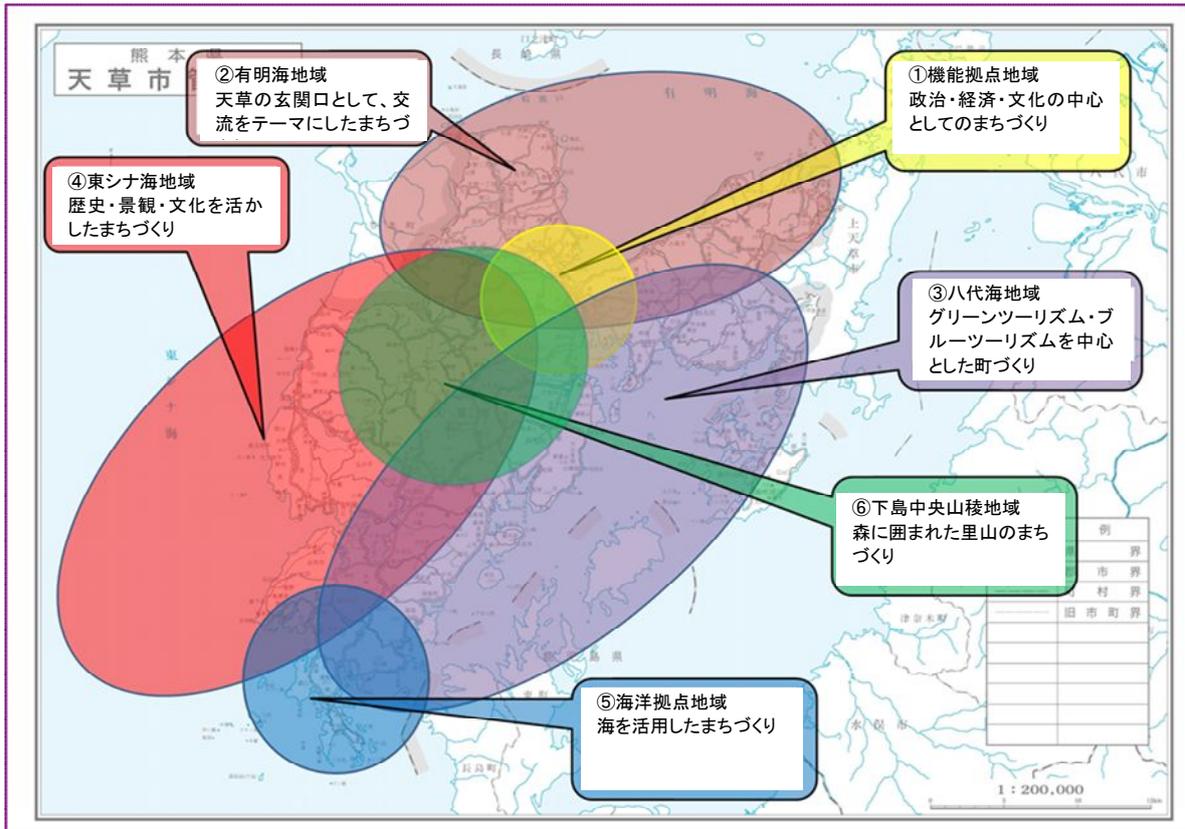
地域（6ゾーン）別の まちづくりの方向性

第1節 地域特性から見た6つのゾーンごとの特性をいかしたまちづくりの方向

ゾーン	地域特性	特性を活かしたまちづくりの方向	地区	主な振興会
① 機能拠点地域	<p>本市において最大の人口を擁し、行政・経済活動の中心となっているゾーンです。気候は、暖流の影響で、海岸部の一部において無霜地帯があるなど、冬は暖かく、夏は比較的涼しい海洋性の気候を呈しています。干潟が発達しており、カシオドリ、シギ、チドリ、カモ、ガンの飛来地、ウミウの越冬地となっています。交通網は、国道266・324号が基幹路線となっています。天草キリシタン館などキリシタン文化などの歴史・文化的資源に恵まれています。企業の立地が多く、宅地の都市的土地利用が進み、今後ますます、当地域における人や経済の交流が活発化することが予想されます。</p>	政治・経済・文化を中心としてのまちづくり	本渡①	本渡南,本渡北,亀場,志柿,下浦,楠浦,佐伊津
② 有明海地域	<p>有明海から天草灘に面したゾーンで、沿岸部の多くは海岸保全区域で優れた漁場となっています。この豊富なえさをよりどころにして、通詞島沖合いには年間を通して約200頭のミナミハンドウイルカが生息し、イルカウォッチングが観光客に好評です。産業は、漁業を中心としており、特産品には、ウニ、アワビ、ワカメ、タコなどやそれらの加工品があります。</p> <p>内陸には2つの鳥獣保護区(有明の老岳鳥獣保護区、五和鳥獣保護区)や老岳(天草第二の高峰)があり、これらの豊かな自然環境にホタルやカスミサンショウウオなどの生物が生息しています。有明地区の国道324号沿いの道の駅「リップランド」や五和地区の天草空港や鬼池港は、天草の玄関口としての機能を有しています。</p>	天草の玄関口として、交流をテーマにしたまちづくり	五和① 有明	御領,鬼池,二江,手野,城河原,楠浦,大浦,須子,赤崎,上津浦,下津浦,島子
③ 八代海地域	<p>本ゾーンが面する八代海(不知火海)はのどかな内海であり、沿岸部の多くは、雲仙・天草国立公園、海岸保全区域に指定され豊かな海の自然が特徴です。気候は、暖流の影響を受け、温暖多雨の太平洋岸気候区に属しています。海域の水質環境は、生活系・事業系の汚濁物質が河川から流入し、経年的には徐々に悪化していく傾向がみられ、夏季には赤潮が発生し、漁業・養殖業に被害を与えています。内陸には、倉岳(天草上・下島で最高峰)、御所浦鳥獣保護区、宮南鳥獣保護区、水源かんよう保安林があり、これらの周辺にはカスミサンショウウオ、ホタルなどの生物が生息しています。恵み豊かな自然をいかした各種のツーリズムが活発なゾーンで、栖本地区では、河内川に残る豊かで美しい自然に生息しているホタルとカップをモチーフにした、さまざまなイベントが行われています。御所浦地区は全島博物館構想のもと、「恐竜の島」としてアピールしています。新和地区では宮南「ふれあいの里みどりの村」を拠点とした体験観光を推進しています。</p>	グリーンツーリズム※・ブルーツーリズム※を中心としたまちづくり	栖本 倉岳 御所浦 新和① 河浦①	栖本 浦,棚底,宮田 御所浦,御所浦南,牧島,御所浦北,嵐口 中田,宮南,小宮地,大多尾,大宮地 宮野河内

<p>④ 東シナ海地域</p>	<p>東シナ海に面している本ゾーンは、歴史・文化的には、16世紀にキリスト教が伝わり、日本で初めての平家物語等の活版印刷が行われるなど南蛮文化※が栄えた地域で、これらの資料を展示した天草コレジヨ館が核となっています。天草灘に面する沿岸は、気候は五島西方沖を北上する対馬海流の分流が流れこみ温暖で、奇岩・岩礁が連続し、風光明媚で雲仙・天草国立公園にも指定され、妙見浦は国の名勝及び天然記念物にも指定されており、特に日没時の夕陽と海のコントラストはすばらしいものがあります。白鶴浜海水浴場は、熊本県で唯一「日本の海水浴場88選」にも選ばれ、アカウミガメも上陸します。産業は、沿岸漁業が行われ、イワシ類・サバ・イセエビ・タコ類などが漁獲されています。また、崎津・大江教会、国民保養温泉地である下田温泉や五足の靴文学遊歩道、有田や瀬戸の陶磁器の原料となる良質の陶石を産出し陶磁器生産を行っており、歴史・景観・文化資源などをいかした産業が行われています。特に、景観面では、「日本の渚100選」などにも選ばれ、最近では、集落の中心に教会がそびえ、漁労・流通・往来・居住といった複合的な要素が、独特な景観をつくり出しているとして評価され「崎津の漁村景観」が国の重要な文化的景観に選定されました。</p>	<p>歴史・景観・文化を 生かしたまちづくり</p>	<p>天草① 河浦②</p>	<p>下田北, 下田南, 高浜, 大江富津, 一町田</p>
<p>⑤ 海洋拠点地域</p>	<p>天草下島、本市の最南端に位置する当ゾーンの多くは東シナ海に面し、雲仙・天草国立公園に指定されています。豊かな海洋資源とリアス式海岸を利用した天然の良港に恵まれ古くから漁業が盛んで、熊本県下最大の漁港「牛深」が位置しています。活気・にぎわいを創造していくという牛深フィッシャーマンズワーフ(漁師の波止場)構想の中核施設として牛深港の海上に美しくダイナミックな弧を描く「牛深ハイヤ大橋」、海の水産観光情報センター「うしぶか海彩館」、全国的に有名な牛深ハイヤ祭り、海域(海中)公園では、サンゴと熱帯魚が間近に見られるなど観光資源が多彩で、波間に行き交う漁船やカモメが飛び交う豊かな自然環境に見事に調和し、訪れる人を魅了しています。</p>	<p>海を活用したまちづくり</p>	<p>牛深</p>	<p>牛深, 久玉, 深海, 魚貫, 二浦</p>
<p>⑥ 下島中央山稜地域</p>	<p>本ゾーンは内陸型で、地形的特徴として、北から矢筈岳(天草下島の最高峰)、天竺、角山、矢筈岳、行人岳、頭岳などの標高400~500mの山地で占められていることから平坦地に乏しく、山地農村景観を呈しています。山間部の福連木鳥獣保護区、水源かんよう保安林の自然度が高い地域では、カスミサンショウウオ、ホタル、ヤマセミ、カワセミ、ムカシトンボなどの貴重な生物が生息しています。気候は、温暖な島内でも一番の寒冷地で、冬にはたびたび霜が降り、積雪によるチェーン規制も実施されることがあります。主な産業は農業で、水稲、葉たばこ、野菜、茶や畜産などが中心です。農業の兼業・高齢化が進んでいますが、農業法人宮地岳営農組合の作業受託により、耕作放棄地はほとんど存在しなくなっています。</p>	<p>森に囲まれた里山のまちづくり</p>	<p>本渡② 新和② 天草② 河浦③</p>	<p>桐宇土, 本町, 宮地岳, 碓石, 福連木, 新合</p>

地域図



第2節 6つのゾーンごとの重点的な取り組み

本市の環境の基本目標を達成するための、全市的な主な取り組みにおいて、特に6つのゾーンごとに、重点的または特に重点的な取り組みが望まれる地域ゾーンを下表に示しました。詳細は、資料編の「地区振興会別の取り組み」に示しています。

基本目標	主な取り組み	共通	地域別					
			機能拠点	有明海	八代海	東シナ海	海洋拠点	下島中央山稜
(1)豊かな自然と共存する住みやすい天草づくり	①森林、 <u>里地里山</u> ※、水辺等の保全への取り組み	○						
	②自然と共生する生活空間への取り組み	○						
	③騒音、振動、悪臭への対応	○						
	④景観への取り組み	◎						
	⑤文化財の保存と活用への取り組み	◎						
(2)環境と経済が調和した持続可能な天草づくり	①自然海岸の保全等開発における環境配慮		○	◎	◎	◎	◎	
	②環境保全型農林水産業※等環境ビジネス※振興	○		◎	◎	◎	◎	◎
(3)資源とエネルギーの循環による地球環境にやさしい天草づくり	①廃棄物の <u>ゼロエミッション</u> ※化への取り組み	◎						
	②資源循環への取り組み	◎						
	③ <u>新エネルギー</u> ※の導入、省エネルギーへの取り組み	◎						
	④大気環境への取り組み	○	◎	◎				
	⑤化学物質(土壌等)問題への取り組み	○						
(4)多様な生物たちと共生し、豊かな心を育む天草づくり	① <u>生物多様性</u> ※への取り組み	◎						
	②海域環境、水環境への取り組み	◎						
(5)学び行動する環境市民力による天草づくり	①環境情報の利活用	◎						
	②環境教育・学習の推進、人材育成	◎						

◎特に重点的な取り組みが望まれる地域ゾーン、○重点的な取り組みが望まれる地域ゾーン